

婦人画報

連載「フランスを通して」
高円宮妃久子殿下

最新情報はこちら!
FUJINGAHO
113 YEARS & BEYOND
fujingaho.jp

September 2018
No.1382

9

SAKE LOVE

日本酒に世界が夢中

パリ発、NY発、「SAKE」最前線
日本テロワールを巡る旅、「KURATABI」
女性のための、オールアバウト「SAKE」

お米、きのこ、ジビエ……
里山
ごはんの宿
100歳へ。いま、寄り添うふたり
寂聴さんと、
まなほさん

アイルランド
リズモア城物語
秋のおしゃれ、
「新・貴族主義」
幸福のネロリ



6 ベルトツィ&カゾーニの作品。
7 オークションが開かれたミラノの会場。8 作品の底部には、アーティストのサインが刻まれている。



陶器で草木の葉を表現しました。「素材が土であり、大地と結びついているところがワイン造りと関連しています」。イタリアでは2017年11月が「キュヴェ・プレステージ」の発売10周年（日本では翌年が周年）。アート作品は10点制作。これらがミラノでオークションにかけられ、そのうちの1点を「カ・デル・ボスコ」が落札。これが今回日本でお披露目されました。

アートがワインに関わる例はほかのワイナリーにも見られますが、ほとんどの場合はオーナーが気に入った作品を購入するところまで。アーティストと歩み、そこで生まれる世界をワイン造りに反映させるというサイクル——そこに「カ・デル・ボスコ」が上質なワインを手掛け、人々に愛され続ける理由があります。

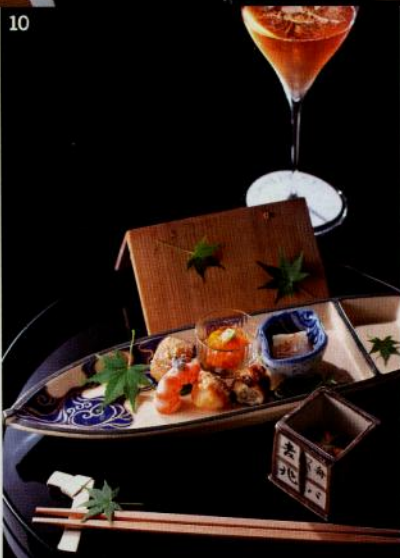


9

1978年にその原型となるワインが生まれ、マウリツィオさん（上写真）の母の名前をとって1989年から名称を「アンナマリア・クレメンティ」に。原型から数えて今年が30年となる。

●お問い合わせ先＝
フードライナー
☎078-858-2043（本社）

10



キュヴェ・プレステージ
Cuvée Prestige
アンナマリア・
クレメンティ2008
Cuvée Annamaria Clementi

〈右〉キュヴェ・プレステージ。限定ボトルが1本のみ入った6本入セット60,000円。通常ボトル（箱入り）1本5,000円。
〈左〉アンナマリア・クレメンティ リゼルヴァ1本16,000円（ロゼ26,000円）すべて参考小売価格。

「キュヴェ・プレステージ」10周年と「アンナマリア・クレメンティ」30周年を迎えた2018年。ともに「カ・デル・ボスコ」を代表するアイテム。



精霊の棲家

アイルランド・リズモア城を巡るストーリー



アイルランド南部に位置する、小さな城下町リズモア。

12世紀に建てられたこの町のシンボル・リズモア城は、作家や科学者、

アーティスト、プリンセスに大統領、世界的なダンサーなど、

歴史に名を残す数多の人々を迎え入れてきたことで知られています。

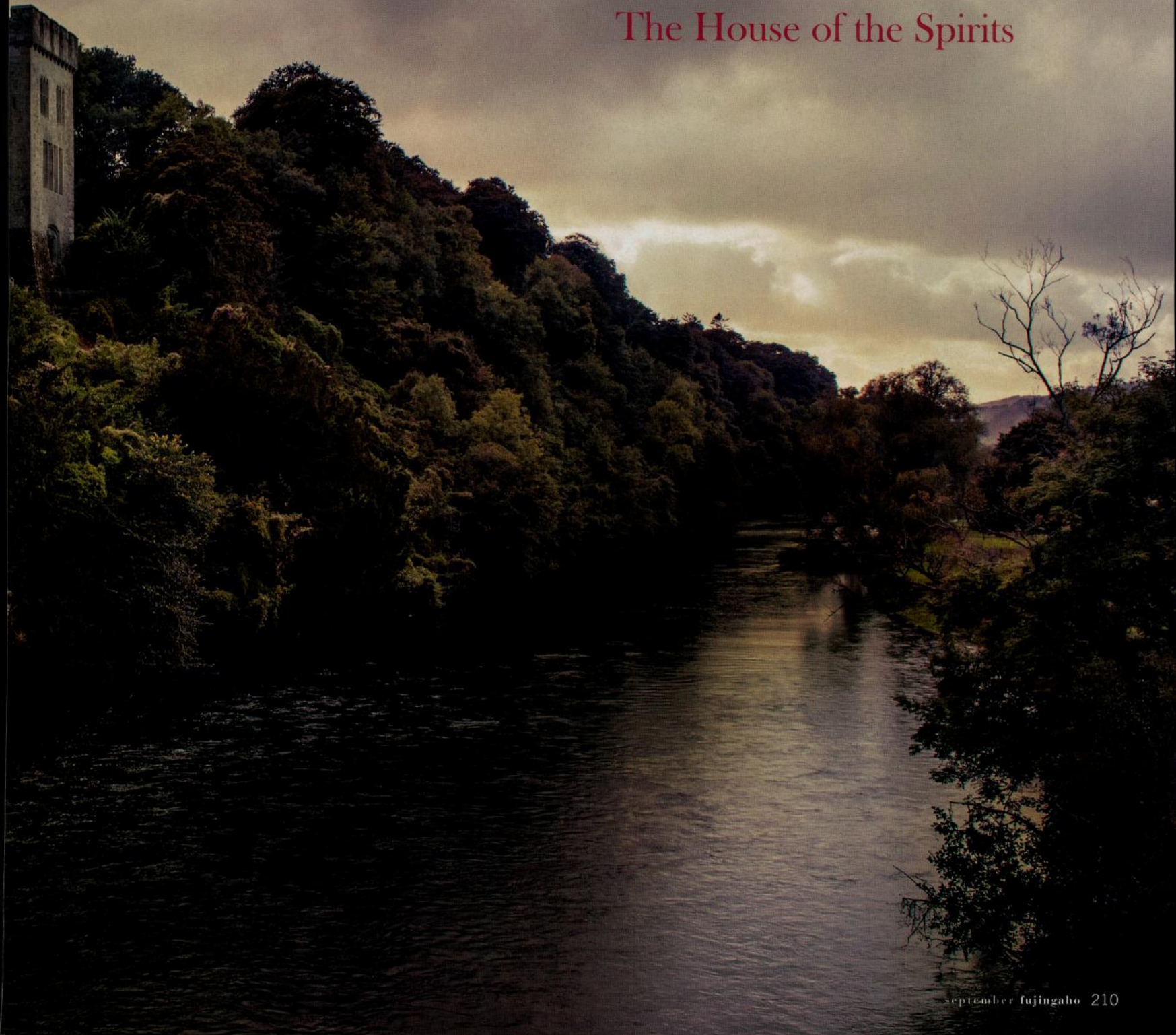
現在城を管理するバーリントン伯爵夫人とともに、

この城に刻み込まれ、現在も脈々と受け継がれる彼らの足跡を訪ねました。

『Town & Country』英国版 2017年秋冬号より 取材・文= Lydia Slater

撮影= Harry Cory Wright 抄訳= 山下千智

The House of the Spirits



アートとワインが響き合う場所、それがフランチャコルタ地方にある「カ・デル・ボスコ」

「カ・デル・ボスコ」のマウリツィオ・ザネッラ社長は、1987年から30年、のべ12人のアーティストをワイナリーに招き、ゼロから作品を創り上げる試みを行ってきました。

アーティストは、まずイタリア北部フランチャコルタ地方にある「カ・デル・ボスコ」の本社を訪れ、ワインを味わい、風を感じ、それぞれに感じたものを表現し、昇華させます。「彼らがどこからインスピレーションを受けているかはわからない」とマウリツィオさんは言います。

「例えば、青いおおかみの作品は、屋根の上にあります。本来、おおかみは森にいたるのだから森に置こうと提案したところ、アーティストは森のおおかみはあまりに陳腐だからやめようと反対しました。結果、インパクトが強くなった。対話により、受けたインスピレーションを具体化することで作品になり、それが「カ・デル・ボスコ」に加わることで、そのワイン造りの方向性にも少しずつ影響を与えていきます」

2017年に登場した13番目の作品が、ベルトツツイ&カゾーニによる彫刻です。普通は銅や大理石など硬い素材に彫刻するところ、紙のように薄く、触れば壊れるほど繊細な



3 ポーランドの彫刻家イゴール・ミトライ (Igor Mitoraj) 作「光のヒーロー (Eroi di Luce)」(1991年)。イタリアのカッラーラ地方の大理石を使った作品。4 ステファノ・ボンバルディエリ (Stefano Bombardieri) 作「吊るされた時間の重さ (Il Peso del Tempo Sospeso)」(1999年)。等身大のサイの模型を吊るすことで、人類と自然のつながりについて考える機会を促すという作品。5 ブラジルのスピリット・コスタ (Spirito Costa) 作「卵のコンセプト (Egg Concept)」(2014年)。70%のリサイクル材料、6,000個以上の卵殻で作られたもの。



1 アーティスト集団、クラッキングアート (Cracking Art) 作「青いおおかみたち (Blue Guardians)」(2010年)。リサイクルプラスチックを使用。2 ブルガリアのラド・キロフ (Rado Kirov) 作「重力+柱 (Gravity, 2013 + Untitled Column, 2013)」(2013年)。金属に周囲の風景が映り込むことで、両者が一体化する。



2018年5月29日、東京「八芳園」
で「カ・デル・ボスコ」の主要ワイ
ン「キュヴェ・プレステージ」発売
10周年記念の催しが行われた。
記念ボトルのエチケットは、彫刻
家ベルトツィ&カゾーニによる。



「カ・デル・ボスコ」が歩んだ10年。そして

イタリアの 最上の泡が 創る世界

シャンパーニュと同じ瓶内二次発酵で造る

イタリアの高級スパークリングワイン、フランチャコルタ。

このワインを広く世に知らしめてきた

「カ・デル・ボスコ」が誇る、キウヴェ・プレステージは、

2018年で発売から10周年を迎えました。

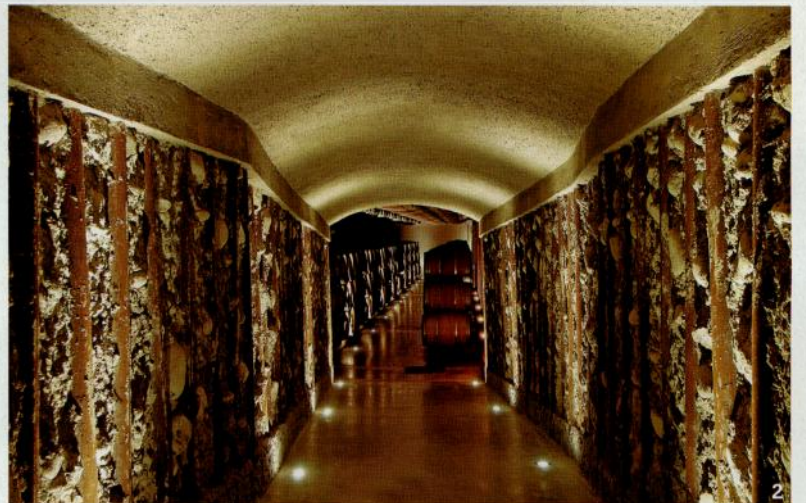
泡好きの人々に長く愛されてきた背景には、

アートとともに歩んだ30年間がありました。

撮影 ■ 前川明範 (P207, 209)
蛭子真 (P209)



1 イタリア北部ロンバルディア州フランチャコルタ地方。ここで造られる瓶内二次発酵方式のスパークリングワインがフランチャコルタと呼ばれる。ぶどう畑の真ん中にあるのが「カ・デル・ボスコ」社長のマウリツィオ・ザネッラさんの両親が40年前、別荘として購入した土地を耕し、ワイナリーはスタート。2「カ・デル・ボスコ」のワインの貯蔵庫へ。華やかなライティングが上質な空間を演出。3 ワイナリーの正門には、片側で2.5トンあるブルンズ製の扉。イタリアの彫刻家アルナルド・ポモドーロ (Arnaldo Pomodoro) による「太陽の門 (Cancello Solare)」(1987年)。4 最新設備で品質管理を追求。2008年に有機栽培の畑に変えた。ぶどうを取収後、徹底的に水で洗浄するのはほかのワイナリーにない特徴。



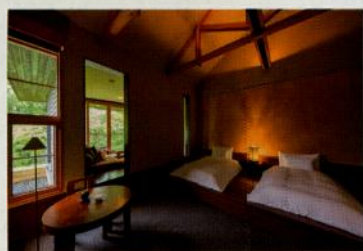


山の朝食

野菜の出汁だけを使い、胃腸に優しく、体を温め、エイジングケアも見据えた食材を取り入れた「山の朝食」。野菜の出汁の滋味深い味わいが全身に染み渡るよう。

山の懐石

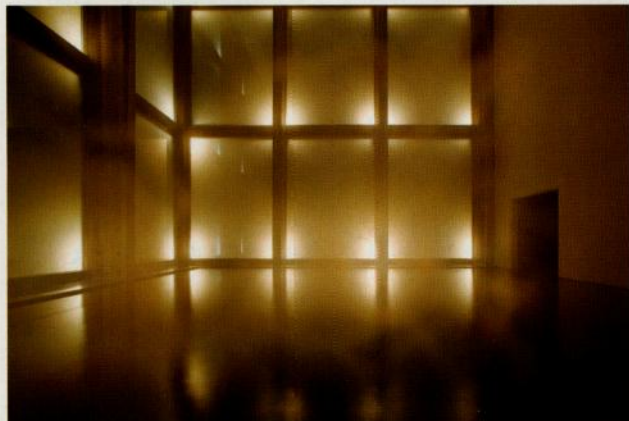
旬の山川の幸をふんだんに使った懐石料理。手前は沢蟹の素揚げ、摘み草揚げ、もろこし岩石揚げ、鬼灯寿司、茗荷田楽などを盛り合わせた八寸。奥は青筒豆腐。



星のや軽井沢

長野県軽井沢町星野
☎0570-073-066(星のや総合予約)
IN15時 OUT12時 全77室
一泊食事なし1室料金63,000円(税・サ込)~
※予約は基本2泊より

文化と自然に育まれた森のエコリゾート
「星のや軽井沢」の前身、星野温泉旅館が軽井沢の地に開業したのは1914(大正3)年のこと。その後、1921(大正10)年ごろには、北原白秋や島崎藤村など、当時の文壇を代表する文人たちがこの地に集い、語り学び合うコミュニティが形成されていたといえます。
そうした文化的背景と、「日本三大野鳥生息地」といわれる「軽井沢野鳥の森」を有する豊かな自然環境に恵まれたこのリゾート地では、今回ご紹介しようたる、バードウォッチングや森林乗馬、森林養生プランなどが用意され、森の力を存分に享受できます。
また、ここは、敷地内に水力発電所をもち、地中熱、温泉排熱など、消費エネルギーの約7割を自然エネルギーで自給しているエコリゾートでもあるのです。
食材が豊富な長野ならではの滋味深い山川の料理を楽しむのも「星のや軽井沢」の魅力。心も体も蘇るような理想郷がここにはあります。

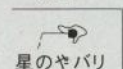


〈上〉指圧、鍼灸を織り交ぜたマッサージ。〈左〉39~40℃に保たれた「メディテーションバス」。光と音の中でゆっくりと瞑想できる。

星のやとは...

星野リゾートが国内5カ所と、インドネシアのバリ島で展開する日本発のラグジュアリーリゾート。圧倒的な非日常感をゲストに提供。どの施設も土地の景観に溶け込むように設計されている。

インドネシア
バリ島



星のやバリ

